

第 335 回

エフエム石川放送番組審議会議事録

議 題

業務概要の報告

試聴と質疑・意見交換

令和 6 年 6 月 26 日

株式会社エフエム石川

第 335 回エフエム石川放送番組審議会

1. 開催年月日・開催場所

202 年 5 月 29 日（水） 午後 2 時～3 時
香林坊ラモーダ 9F

2. 委員の出席

総委員数 7 名
出席委員数 6 名（書面回答含む）

出席委員の氏名（50 音順）

委員長：柳澤良一

副委員長：中塚健也

委員：工藤彩子、久保 勉、平木孝志、宮川昌江

3. 議題

業務概要の報告

番組試聴と質疑・意見交換

議事内容

〔業務概要の報告〕

5月から学生応援番組の「Students Jam R」と、月替りの女性・ガールズアーティストのトーク番組「HiGH-KEY ELAST!C G!RLS」の2つの新番組をスタートした。また5月11日に特別番組「Good Inclusion 石川県森林公園 SPECIAL」を放送した。この番組は去年豪雨災害に見舞われ今年リニューアルして利用が再開されたインクルーシブ公園（多様性を取り入れどんな方にもやさしい公園）を掲げる石川県森林公園を紹介する内容です。

〔番組の試聴と質疑・意見交換〕

（１）【試聴番組】

番組タイトル：Students Jam R（スチューデント・ジャム・アール）

放送日時：2024年5月3日（金）17:00～17:40

出演：徳前藍（番組ナビゲーター）、学生団体 WeCode

（２）【番組内容】

2016年まで放送していた「STUDENTS JAM」をリニューアルし復活した番組で、出演者が大学生だった前回から高校生まで広げ女性パーソナリティを起用した。タイトルの「Students Jam」は「学生とのジャム・セッション（即興演奏）」を意味し、RはRefresh、Return、Radioの3つの頭文字を象徴しています。全国有数の「若者パワーがみなぎるまち（※1）」で、その活動する姿や熱い想いをラジオから発信し、現代の若者の思考、生活、文化に理解を深めてもらうプログラムです。エフエム石川は「学生のまち推進」を支援する企業として金沢市の「学生サポーター企業」に登録。学生の自立的な活動や生活を応援しています。第1回の放送は通信制高校で学ぶ生徒が立ち上げた学生団体 WeCode（ウィー・コード）の2人に出演してもらい活動について伺った。進行はフリーアナウンサーの徳前藍。

※1：人口10万人当たりの高等教育機関（大学、短大、高専、専門学校）
全国1位（平成30年度学校基本調査、金沢市のホームページより）

（３）【委員の意見】

・学生と徳前さんの軽快なトークが印象的でした。現代の通信制高校の学生がプログラミングの楽しさを伝えたいと考え活動している志の高さに感心しました。大人以上に自分の意見や考えを言葉にできる様子に驚きました。徳前さんが大人と学生の間での立ち位置で上手く話を聞いていたのが良かった。一方

でトーク時間がやや長く感じました。現代の学生が考えていることを聞ける良い番組でした。

- 全体的には大変良い番組だと思った。また学生をテーマとした番組を復活したことも良い。徳前さんはメリハリがありリスナーがイメージできるように紹介していて良かった。ブロックを組み合わせるようにプログラムを作り上げるという内容は、人によっては難しい内容だったかたかもしれない。高校生が会社を作れるということを広く知らせることが大切だと感じた。資金調達にクラウドファンディングを利用するのは今どきの高校生だと思いました。曲の紹介や選んだ理由もあったのは良かった。
- 地元の若い人が出演する番組を復活させたのは良いと思う。IT弱者にとっては丁寧に説明されていても分からない部分もあった。「プログラミング言語」という言葉さえ分からない人もいるかもしれないという考えで徳前さんが補足すれば良かった。出演した高校生の2人が「どんな人なのか」を番組の最初の時間で紹介したほうがよい。学生団体 WeCode の全体像が見えなかった。関心のあるテーマだったらそう感じなかったかもしれないので、テーマによるかたもしれません。30分程でも良いのかとも思いました。徳前さんのパーソナリティがもう少し活かされると良いと感じた。
- 「デジタルデバイド」など分からない言葉が沢山あり、加えて高校生の2人の話す速度が早く説明し過ぎという感じでした。未来へ向かっていく若者の姿は良いのですが、Z世代のことは理解しづらかった。それでも若い二人の夢を感じることができました。一方でいつか息切れするのではないか心配になり、現代の若者の走りすぎる印象を感じた。
- 教員の立場から番組を聴きた。例えばプログラミングに興味を持つようになったきっかけや指導者がいたのかなど、団体を立ち上げるまでの過程が今一つ伝わってこなかった。高校で学ぶ一方で仕事も兼ねて活動をしているという話を聞いて、昔の若者と随分と違うなと感じた。そういう意味で新しい若者の姿を紹介するのは良いと思った。いろいろと取り組めるのは現代の特権ですが、これまでに積み上げた文化についても勉強して知ってほしいと思いました。
- なぜこの二人を選んだのか意図を知りたい。通信制の高校生というのは現代っぽさあり、そのトレンドを追ったのかという意図が推測されました。今後ど

のような学生が出演するのか一回の放送では分からないので、この後はその点に注目して聴いていきたいと感じました。

(事務局)

初回の出演学生の選択については、番組のスポンサーが通信制高校であることから、通信制高校の生徒に話を聞くことで全日制高校との違いや理解を深めてもらうことを考えて選定しました。2回目以降は決まっている範囲では全て県内の大学生を予定しています。

[議事の概要を公表する場合の日時や内容]

第 335 回番組審議会の議事概要の公表

令和 6 年 6 月 29 日 (土) 19:55-20:00 に放送

掲載書面の備え置き、及びインタット・ホームページへの掲載